

平成25年度

第2回豊島区地域包括支援センター運営協議会

議事録

(要旨)

平成25年度 第2回豊島区地域包括支援センター運営協議会

平成26年3月14日(金) 午後6時から
於：生活産業プラザ8階 多目的ホール

1 開 会

- (1) 運営協議会委員紹介

2 議 事

- (1) 平成25年度事業計画表に基づく取組みと成果について 資料1
- (2) 豊島区の地域ケア会議について 資料2
- (3) 予防給付プラン作成委託契約に係る居宅介護支援事業者について 資料3

(午後6時01分開会)

○事務局 本日、高齢者福祉課長が部長も含めまして、今、緊急対応をしなければならない事案が発生しておりまして、そちらのほうに対応しております。

本日、到着するまでの間、私、福祉総務課長が事務局を担当させていただきますので、どうぞご了承のほどよろしく願いいたします。

会長から、先ほどお電話がございまして、若干おくれてしまうとのことでございます。

それで、皆様方には貴重なお時間を頂戴しておりますので、事務局からの報告事項につきまして、先に報告をさせていただきます。さまざま手際が悪くて大変申しわけございませんが、そのような進め方でご了承いただければと思います。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それでは、委員の変更がございましたので、ご報告をさせていただければと思います。

〈新委員紹介〉

○事務局 本来でしたらここから会長に進行をお願いするところでございますが、先ほど申し上げたような事情でございますので、恐れ入りますが、私どもで説明を先にさせていただければと思いますので、ご了承のほどよろしくお願いをいたします。

2の議事でございますが、(1)の事業計画表に基づく取組みと成果についてが本日、一番大切な議題でございます。こちらは会長がお越しになってから進めさせていただきたいと思っております。

(2)豊島区の地域ケア会議につきまして、まずは事務局からご報告をさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。

本来でしたら、高齢者福祉課長が説明するところですが、課長にかわりまして地域包括サポート係長が、かわって説明をさせていただきます。

○地域包括サポート係長

〈資料説明〉

○事務局 それでは、次に、本日、追加資料として配付しましたアトリエ村包括の地域懇談会開催実績報告書をごらんください。先月2月21日に、アトリエ村包括が開催いたしました地区懇談会の報告書になっています。これにつきましては、アトリエ村包括からご報告させていただきますので、よろしくお願いをいたします。

今、会長が到着されましたので、しばらく会議を中断させていただきます。

恐れ入ります。私ども事務局も本日、緊急対応で高齢者福祉課長あるいは部長が到着するまでの間、私、福祉総務課長が事務局を担わせていただいておりますので、よろしくお願いをいたします。

定足数につきましては、満たしておりますので、この会議は有効に成立しております。

本協議会は、先ほど6時から開催をさせていただいております。今、二つ目の議案につきまして最初にご報告をさせていただいたところでございます。

議事の(2)豊島区の地域ケア会議についてということで、資料のご説明を事務局か

らせていただいたところでございます。地域ケア会議につきましては、確認でございますが、介護保険法が改正になりまして、各自治体ごとに工夫をして地域ケア会議を開催することとされておりまして、この間、会長にご指導をいただきながら、本区における地域ケア会議の階層構造などにつきまして検討してまいりまして、先般、ご報告させていただきましたが、2月21日に地区懇談会レベルのモデル実施ということでアトリエ村包括で開催をいたしました。

また、全体会議ということで、3月7日にモデル的に実施をしたというのがこの間の地域ケア会議の現状でございます。目的、資料のつくり方等につきましては、先ほど事務局の地域包括サポート係長からご報告をさせていただいたところでございます。

会長、よければアトリエ村包括の地区懇談会の模様につきまして、ご報告をするところまで今来ているのですが、そのまま続けさせていただいてよろしいでしょうか。

○会長 お願いいたします。

○アトリエ村包括

〈資料報告〉

○事務局 ありがとうございました。

それでは、議事の(2)豊島区地域ケア会議につきましての事務局からの報告は以上でございます。事務局の高齢者福祉課長が参りましたので、事務局の担当をここでバトンタッチさせていただきます。

会長、今後のご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○会長 どうも失礼いたしました。ただいま、アトリエ村包括からご報告をいただきました。私もこの日、参加させていただきまして、懇談会の様子を拝見しましたが、非常にいいネットワークができて参加者の方の発言も非常に多かったです。

やはり、こういう会議を開催できたということは、事前の準備としてかなりアトリエ村包括が地域に入って関係者の方に説明をして、そして意見を聞いてというところで、個々の方々との信頼関係をつくった上で、会議を開催した。ゆえに発言も多く、議論も建設的で実り多いものになったのではないかと思います。

区のモデル事業報告後の補足が終わりました。それでは、私が不在のところに戻ります。それでは、議事の(1)の資料1についての説明をお願いいたします。

○高齢者福祉課長 ありがとうございます。緊急で案件がありまして、すみません。おくれまして申しわけありませんでした。

議事の1番ということで、平成25年度の事業計画表に基づきます取組みと成果についてということでございます。こちらにつきましては、25年度の第1回目のときには、計画とその評価を一遍に報告させていただきましたが、時間的なこともありまして十分に説明のところができなかったということもありまして、今回から成果については分けてやらせていただいたということでございます。

では最初に、菊かおる園包括から、この計画表に基づきます取組みと成果についてご

報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

○菊かおる園包括

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。

ただいまの事業計画についてのご質問、ご感想などはいかがですか。

○委員 資料中で休職の方がいて、職員が大変ご苦労されているということですが、その後いかがでしょうか。あるいは、区の何かバックアップ等を受けていますか。

○菊かおる園包括 25年度は、職員1欠員でほぼきていまして予防プランナーのケアマネジャーが不足でしたので、その分を他の職員がかかわるということで大変でした。募集をかけてもなかなか補充は困難でしたが、4月からは1名来ていただくことになっています。予防プランナーですので、法人内での対応で、区の方から何かというのは特にありません。

○会長 ほかによろしいですか。

続いて東部包括、お願いいたします。

○東部包括

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。

質問、ご意見などはいかがですか。

引き続きまして、中央包括、お願いいたします。

○中央包括

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。

中央包括の事業計画についてのご質問、ご感想などはいかがですか。

私から一つですけど、社会福祉協議会が運営している包括なので、社協のコミュニティソーシャルワーク事業との結びつきも大分あるように思いますが、その辺のすみ分けとか整理というのは、どういうふうにされていますか。実際、どこの包括もこれからコミュニティソーシャルワーカーとの連携というところが地域支援の中では出てくると思いますが、社協としての包括での考え方を少しご紹介いただければと思います。

○中央包括 平成27年度までにCSWを8圏域にこれから広げていく計画でございます。まだ今は4圏域、それから26年度は6圏域、27年度中には8圏域というふうに広げてまいりますけれども、それぞれの包括が高齢者の見守りについて大変な成果を上げているわけですが、CSWでは生まれた赤ちゃんからお年寄りまで、それから障害者、健全者を問わずさまざまな困窮されている、お困りの事情にある方々の個別の支援をしています。それを地域の課題に結びつけて解決を図っていくような活動もしております。

したがって、圏域自体、包括と同じ圏域の中で活動しておりますし、幅広い活動しておりますので、ぜひ包括とも一緒に手を取り合って活動することができれば、よ

りきめの細かな地域福祉の向上に役立つのではないかと考えております。

また、それを支えるような区民ボランティアの仕組みも今つくっております。今まで
も包括とは活動をともにしてまいりましたが、これからも一層ご活用いただければと思
っております。

○会長 ありがとうございます。

そのほか、ご質問、ご感想などはいかがでしょう。よろしいですか。

それでは、続きまして、ふくろうの杜包括、お願いします。

○ふくろうの杜包括

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。

では、ただいまのふくろうの杜包括の事業計画についてのご質問、ご感想などはいかが
ですか。

感想ですけれども、それぞれやはり地域包括ごとの特徴など、地域性の違い、ニーズ
の差が出てきていますが、それぞれポイントが違って、それぞれが参考になる取り
組みではないかと思えます。

最後に説明いただいた在宅医療との連携というところも包括は大事な部分ですので、
地域住民との連携も大事ですが、医療との連携をどうつくるかというところは、ほかの
包括でも参考になるプログラムではないかと思えます。

続きまして、豊島区医師会包括、お願いいたします。

○豊島区医師会包括

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。

ただいまの医師会包括様の事業計画についてのご質問、ご感想などはいかがですか。

○委員 母体が医師会ということで、介護予防サロンについてメリットはありますか。こ
れまでも発表された各包括もそうですが、各地域にかなり広く深く出向いていかれまし
て、相談にも結びついておりますし、大変なご活躍かと思えます。

そうしますと、業務に対して人員であるとか、日々残業に追われているとか、そうい
った点でのご苦労はいかがなものでしょうか、お願いいたします。

○豊島区医師会包括 医師会館という大きな建物がありますので、4階の講堂を利用させ
ていただいて、体操、講座はやっております。ただ、講座の内容に関して医療的な部分
は、介護予防のサロンではまだ検討をしておりますし、もし先生方とお話をしていただ
けるかということがあれば、今後検討していきたいと思っております。

職員の人数に関しましては、やはり多忙なことは多忙です。出張相談に2名出かけれ
ば、窓口の態勢がちょっと手薄になってしまうということもありますし、今後、いつも
来客があるとは限りませんが、窓口人数に関しましては増やしていけたらいいというふ
うには考えております。

○豊島区医師会副会長 介護予防サロンにしても、これからまた違う事業が出てくると思うのですが、実際に医師がそれに介入している地区医師会がごくまれにございます。まことに申しわけないのですが、まだ私たちはそのレベルでございません。

例えば、昼休みのあいた時間にちょっと寄って、一緒にお話をするという感覚までは調整されておりません。できればそういうのがよろしいのでしょうか、医師会に日中に来る医師たちは、日ごろの医師会がしなければならない活動の片づけをしに来るといふ形でございますので、時間がなかなかつくれていないというのが本当です。

今後、考えていかなければならないとは思いますが、時間を例えば2時間昼にとるとか、1時間とるといふのがかなり困難なので、やはりポイント、ポイントでそういう話があるというのであれば、お手伝いができるような人員を今後、介護保険部関係でつくっていくことは可能かと思えます。

○会長 よろしいですか。

医師会の先生方も関心を持って協力していただけるというところはとてもありがたいことですので、また豊島区医師会包括の活動からほかの包括もぜひ地元の開業医の先生方とのつながりをつくっていくというのもまた一つのヒントになるかと思えます。

次にいけよんの郷包括、お願いいたします。

○いけよんの郷包括

<資料説明>

○会長 ありがとうございます。

ただいまの報告につきましてのご質問、ご感想などはいかがですか。

○委員 まず、認知症サポーター養成講座ですけれども、私どもの地区でもやっております。どうしても先細りということになりまして、対象を広げるところですが、例えば小・中・高校とか、青少年向けとか、あるいは商店街、ご家庭の主婦向け、そういった対象の講座は、今後予定されていますか。

介護者教室は、やはり介護者の負担軽減、ストレス解消といった意味では大変有効で、参考になりましたので一言申し上げます。そのような点を、よろしくお願いいたします。

○いけよんの郷包括 認知症サポーター養成講座ですが、今回幅広く募集をしましたところ、多数集まっていただきました。その中にはお子さんを連れのお母さん、あとは近隣のグループホームの認知症の当事者の方も参加をいただいています。

グループホームに入所をなさっていらっしゃる方とか、あとはグループホームの方も一緒に来られて、勉強会というような形になりましたので、思いがけない反応だったので驚きました。子供向けの資料を用意してほしいというお話もいただきましたので、今後はそのような形で募集の幅を広げていきたいと思ひ、来年度も引き続き認知症サポーター養成講座に力を入れていきたいと思っております。

先ほどの介護者教室ですけれども、特別養護老人ホームとか、デイサービス、ホームヘルパーステーション、そういった事業が詰まっている養浩荘という事業部の中にあり

ますので、そこの専門の職員の力も使いながら、地域の方々に特別養護老人ホームの養浩荘の機能を活用していただけるように、またいろいろと設定していきたいと考えております。

○会長 ありがとうございます。

いけよんの郷包括では、地区懇談会を今年3回実施されているようです。27年度の本格実施に向けての運営ということですが、そこからの成果や、課題について簡単に教えていただけますでしょうか。

○いけよんの郷包括 3月に地区懇談会を実施しましたが、今回は民生委員の皆さんなどを中心にアウトリーチ連絡会と一緒にという形で開催をしました。認知症をテーマに地域の方たちに知っていただきたいことを地域のそれぞれの先生から講義をしていただいて、皆さんで認知症の方がいたときにどのような対応をしているかというような話し合いを持つということが今回できております。

まだ第一歩なので、それをどのような形で地域に広げていくかとか、どういうふうに取り組んでいくかということのところまでは、まだたどり着けていないわけですが、そういったような形で地域に認知症の方たちがいらした場合には、どういうふうに対応していくかということを皆さんでお話し合いすることが今回できております。今後も、引き続き進めていきたいと考えております。

○会長 ありがとうございます。

各包括とも、本当に盛りだくさんの事業をなさっていて、ご多忙だと思いますが、今、地域ケア会議なども計画されていく中で、だんだんと収束されていき、あるいは不要になり、優先度が低くてほかの事業に吸収できるようなものも出てくるのではないかと思います。ちょうど今、その過渡期にあるように見えますけれども、個別にかかわるだけでなく地域に出ていって、そこでのネットワーク形成に向けた取り組みがいけよんの郷包括からも見えてきたのではないかと思います。

そのほか、何かご意見、ご感想などはいかがでしょう。よろしいですか。

続きまして、アトリエ村包括、お願いいたします。

○アトリエ村包括

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。

ただいまの報告につきましてのご意見、ご感想、ご質問などいかがですか。

○委員 まず1点目は、アトリエ村包括は社会福祉法人で、特養が母体でいらっしゃいます。私どものところも同じ福祉法人で、包括が区の集会所の下で事務所で母体と離れておりまして、ですから、常日ごろの区との連携が母体の法人になかなか伝わらない面もありまして、大変苦慮しているところもあります。

そういった面で、法人内での包括の位置づけなり、区との連携、そういう公的な役割のご理解、あるいはそれに対する支援というのは得られていますか。

全ての包括の事業を通してですが、豊島区はかなり先進的にいろんな事業を多方面でやっていただいている地区と実感しているところですが、そういうよいところを法人内部に発信するとともに、他23区というと大きくなりますが、ほかに地元など広く発信するような、そういう機会というのがおありなのかどうか、それをお聞きします。

○アトリエ村包括 私どもは特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所との併設の包括支援センターです。事務所は特養などとの事務所とは別になっていますが、向かい合っておりますので、日常的に私どもの窓口の外をデイサービスの業者さんも通り、特養の入所者も通り、朝はミーティングなども共同で行い、アトリエバザーという年に1回行うバザーなども一緒に委員にも加わって行うなど、そういう形での共同、共催も行っていますので、お互いに役割をわかってはいると思います。

ただ、どうしても包括支援センター自体について、どれぐらいうちの施設内や法人内について、私どもがアピールできているかというのは、正直言いましてちょっと心もとないところがあります。

一応、私どもの法人で、三つの包括支援センターを区内で受託させていただいてまして、その包括の中で包括部会という部会を設定して、3包括にて3職種等が集まりまして意見をまとめて事務局本部のほうに上申をしたり、あとは報告をしたりという形でいろんな人員体制も含めて意見を上げさせていただいています。

今後、区との委託事業という中で、契約主体は法人なので、現場のほうからの要望と法人と区との関係、現場と法人事務局本部との関係などの中で、人員体制などに進展しなかったり難しいこともあるので、そういうことについてほかの法人の包括ともいろいろ連携がとればよいとは思っております。ちょっとお答えになっているかどうかわかりませんが。

区外へのアピールということについては、東社協を通じた部会などを通じて研修などに参加したり、個人的な連携などありますが、特に固まったつながりはありません。

今年度、BCPで災害応援協定委員会などに参加させていただきながら、包括としてほかの包括の所長などとも連携し、災害時の包括のあり方などについては少しお話をさせていただく機会は多く持つことができたと思っております。

○会長 ありがとうございます。

そのほか、ご質問、ご意見などいかがでしょうか。よろしいですか。

今も豊島区の地域支援の積極的な展開についての評価をいただきましたが、セーフコミュニティの一つとして、豊島区の各包括は地域に向いていただいて、いろんな活動が今、展開されております。アトリエ村包括も積極的に出ていく中で、だんだんとコミュニティソーシャルワーカーとか、社協とのつながりも見えてきているようです。

そういう中で、重複している部分はお互い調整をしたり、あるいはどちらが担うのかという役割分担ができていくと、もうちょっと各組織の事業も少し洗練されてくると思います。

ですので、あとはセーフコミュニティの中で豊島区が取り組んでいる地域への支援について、ぜひ何らかの形でこれからも発信していけるように、また取り組んでいただければというふうに思います。

それでは、最後になりますが、西部包括、お願いいたします。

○西部包括

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。

ただいまの報告についてのご質問、ご感想などはいかがですか。

○委員 まず、サポーターについてご報告がありましたけれども、板橋区でも養成しますが、その後どう活動したらいいかという相談で、活動の場、あるいは活動してもフォローがなかなか十分できていないので、これはとても素晴らしい活動かなというのが、感想としてございます。

3-(3)にありますアウトリーチで、熱中症予防で1,200件回られたということで、これは大変素晴らしい。ほかの包括もやっていらっしゃるかと思いますが、私もでもさきの暑い夏のときに回っても、やはり見守り名簿の400人あるいは連絡先が不十分なところを中心に回る程度でしたので、大変な数ということで、大変驚いております。

4-(8)BCP、これは区全体で取り組んでいる活動ですか。それとも法人内という形になりますか。

○西部包括 本年度、社会福祉法人フロンティアで、BCPの委員会を立ち上げまして、いけよんの郷所長が委員長として本日、法人全体の五百数十名でのBCP訓練をへとへとになって終了してまいりました。法人内のものです。

○会長 そのほか、ご質問、ご感想など、よろしいですか。

○委員 とても勉強になった点が、包括のほうから各事業所を訪問するというところが私は驚き感心いたしました。私もケアマネジャーの事業所をやってはいますが、包括とのかかわりというのは、どちらかという、やっぱり何か困難ケースを事業所から相談に行きます。包括から出向いていくというのがとても感心しました。連携がとれている包括さんとしょっちゅうお互い顔が見えるところでやっていくために、包括さんから出向いていくという発想ですね。とても素晴らしいと思いました。

○会長 ありがとうございます。

また一つ、いいところを見つけていただきまして、ありがとうございます。

そのほか、ご質問、ご意見など、よろしいですか。

○委員 8カ所の地域包括支援センターのお話を聞かせていただいた感想ですが、まず民生委員との連携についてですが、私は仕事でほかの市の地域包括支援センターと昨日も話をしましたが、民生委員との連携はなかなかとれていないところが多い中で、先ほどの民生委員と一緒に熱中症予防事業で訪問したなど、いろんな事例を聞かせていただい

て、すばらしいと思いました。

やはり、民生委員は、地域の高齢者のことをよくご存じですし、包括はやっぱり面でもやっていかなければいけないので、これからも民生委員との連携をぜひお願いしたいと思っています。

それから、会長からもお話があったように、事業が本当に多岐にわたっていて、包括は本当に大変だと思っています。

昨日、かかわったところは、地域包括ケアシステムが手つかずで、市が全然方針をつくっておらず、何もやっていませんというところでしたが、豊島区はこういうふうな取り組みをいっぱいやっているということで、本当に先進的な区であるということを感じました。

ただ、この事業そのものを幾つもやっているということで、事業をこなすことに主力を置かれるというところがちょっと心配で、人数をこなす、参加者の人数だけで評価せずに、内容の充実というところに力を入れていただければ、参加が3名であろうが、そこで充実したものであればすごくいいと思うので、余り参加者数にはこだわらないほうがいいのではないかと私は感じました。

アトリエ村包括で出ている要援護者名簿ですが、逆に区に質問ですが、包括と要援護者名簿は、共有できているのでしょうか。

今やっているところは、全く名簿は開示されていないというお話を聞いたばかりなので、区としては包括に要援護者名簿を開示して情報を共有なさっているのかというところが、ちょっと気になりました。

○会長 要援護者の名簿の共有についてのご質問です。

○福祉総務課長 災害時の要援護者名簿は幾つかのパターンがありまして、今、区のほうで取りまとめをしているものについては、要介護3から5と愛の手帳と身体1から4という形でカテゴライズをしております。

そちらにつきましては、今まさに作成中ということで、これについてはその対象を条例で決めておりますので、民生委員と地域防災組織、平たく言うと町会になりますけれども、それと社会福祉協議会、そして警察、消防というふうに定めていますので、その意味では包括については、今のところは対象としておりません。

ただ、包括は要介護の3から5というような方については情報をお持ちだというふうに思っています。

そういった中で、今後、包括について考えていくときに、救援センターごとに在宅の方の例えば福祉救援センター、特養などをイメージしておりますけれども、そういったところへの優先度みたいなものをどこかで決めなければいけなくなると思っています。

そのときに、やはり鍵になるのは、日ごろからそういったことに専門的に携わっていらっしゃる包括になるのかなというふうに思っていますが、まだここについてはそこまで正直言って、いっておりません。

繰り返しのようになってしまいますが、区のほうで整備をしようとしている愛の手帳も含む形の名簿を包括のほうにお渡しするのは、今のところは想定しておりません。

○会長 よろしいですか。

そのほか、ご質問、ご意見、ご感想などはいかがですか。

○委員 大変素晴らしい活動していただいております、特に我々は今まで聞く一方で事業概要などを聞いていましたが、事業計画表といったものを具体的に各包括担当者からじかにお聞きすることで、リアルに肌を通して、大変素晴らしい事業を、以前も、今もやっていらっしゃるといことはわかるようになりました。

そういった意味では、我々運協のほうも豊島区の特徴であるアウトリーチではありませんが、さらに一步踏み出して包括と区と一体になって理解あるいは発言の場を設けることで、さらに地域ケアが推進できればと思います。

他の自治体では、運協の委員が各包括の会合、ネットワーク会議等に参加して、その実態を把握してそれをまた運協の場で提案あるいはご意見を申し上げるといような取り組みをしている自治体もあるというふう聞いております。板橋区でも16名の委員さんが5地区に分かれて、2、3名ずつ各年度の事業に参加して、つぶさに見ていただくという取り組みをしておりまして、それを運協で発言いただいているというふうになります。

豊島区では全体会議がございますが、それと運協が合体したような形で2カ月に1回、運協を開いて各包括と運協委員が資料で言いますと55ページの地域の課題であるとか、地域づくり、政策形成といった議題で話し合っって次の課題を全体で話し合う場を設けているという実態もあるというふう聞いております。

そういった意味で、我々運協のほうも一步踏み出して包括の皆様と一緒にの視点で、一緒に何らかの形でかかわりが持てたら、さらに充実してくるのかなというのを今、感じているところですので、またご検討を何らかの形でしていただければというふうに思っています。

一番心配しているのは、こういう多方面の事業を限られた人員でやっておられるかと思しますので、欠員になったり、異動ということで、そのレベルを維持する、こなすということだけでなく、量的なもののほかに質的な面も、今後はさらに充実していただければ素晴らしい地域包括ケアの先進的な地区になるんでないかと期待しておりますので、その点も一言申し上げます。

○会長 今の質問について、何かご意見はよろしいですか。

○高齢者福祉課長 ご意見ありがとうございます。まさにおっしゃるとおりで、今、地域ケア会議の関係について包括の方と一緒に検討しているところでございます。

そういった形で、これから運協のほうにもケア会議全体会の中でいろんな課題等も含めて抽出された内容等についてご報告し、また運協の委員の方々のご意見もいただいた上で、政策形成に結びつけていけたらいいなというふうに考えておりますので、また引

き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

○会長 ありがとうございます。

そのほかよろしいですか。時間もあとわずかになってまいりました。

では、最後の議題に入りたいと思います。

それでは、議事（３）予防給付プラン作成委託契約に係る居宅介護支援事業者について、事務局より説明をお願いいたします。

○高齢者福祉課長

〈資料説明〉

○会長 ありがとうございます。この件につきましての、ご質問などはいかがですか。

それでは、資料３の豊島区介護予防支援業務委託事業所について、ご承認いただけますでしょうか。

（はい）

○会長 ご承認いただきました。ありがとうございます。

本日、用意された議事は以上でございますが、ほかに何かご意見などはございますか。

それでは、先ほど、委員からもご提案いただきましたけれども、豊島区の地域包括ケアシステムの中の包括の運営協議会の役割が、やはりボトムアップ式にこれからまた少し充実していくのかなというところを今日の報告からも感じております。

この地域包括ケアシステムは、個別援助の蓄積から地域の共通課題を見つけて、それを政策形成に活用していくというふうな基本的な流れがございますので、これまで包括は各個別の相談の中で包括ごとに取り組んできましたけれども、この包括ケアシステムの形成とか、あるいは地域ケア会議を通して８カ所の包括がそれぞれやっていることの情報と交換したり、あるいは実践の成果を分かち合ったりしながら、各包括の取り組みのレベルがだんだんと上がってきているのかなというところを感じております。

地域ケア会議についての地区懇談会、あるいは全体会議をモデル事業として実施しながら８カ所全体に広げていき、そしてその中の課題を集約していけるように、今行っているところですが、その全体会議の中身が固まってくれば、そこで集約された課題、あるいは政策形成の提言というようなことが包括の運営協議会に提案されてくるかと思えます。

それを踏まえた上で、いきなり政策形成にはなりませんので、介護保険事業計画などの中でまた報告させていただきながら、介護保険事業計画を検討していくという形でまた政策形成につながっていくのではないかと思います。

そういった流れが文字だけではなくて、具体的な実践として立ち上がってきているというところに今、豊島区の最大の成果があるのではないかと思います。それが今日の運営協議会を通して、ご報告いただきましたので、この１年間、現場の方々はとても大変な毎日だったと思いますが、きちんと区の方針に見合った事業ができているということが結果をもって実証できたのではないかと思います。

こういった経営事業計画表をつくったり、あるいは地区懇談会を計画して実施して評価して報告書をつくるというような取り組みは、ペーパー作業も非常にふえてきますので、これまでの相談援助に加えて、確かに業務がふえてきたと負担感を持っていらっしゃるかもしれませんが、その中で徐々に重複するものを合わせていったり、不要なものを新しいものに統合していったりする中で、少し整理する事業も見えてくるかと思いません。

同じように地域にかかわっている社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカーとの連携によってさっきも申し上げましたが、分担できる部分あるいはかつ統合できる部分もあると思いますので、そのあたりの合理的な事業の計画というのも今後また一つ必要な視点ではないかと思えます。

最後になりますけれども、事務局から何かありましたらお願いいたします。

○高齢者福祉課長 次回の運営協議会の日程でございますが、今のところ来年度7月ごろに開催したいと思っております。

内容につきましては、今日は25年度の成果のほうの発表をさせていただきましたので、改めて今度、自己評価の関係、今回の成果・取り組みを踏まえて26年度の事業計画につきまして、ご報告させていただく予定でございます。

日程につきましては、また改めてご調整させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○会長 それでは、ちょうど時間になりましたので、本日は多くのご意見をいただきましてありがとうございました。

これをもちまして、本日は終了させていただきます。貴重なお時間をどうもありがとうございました。

(午後7時56分閉会)